



August 2013

# Newsletter

第13号

理工学系技術部広報誌

平成25年8月29日発行

## 地域貢献委員会「平成25年度上半期 出張イベント」報告

群馬大学理工学系技術部では、子どもたちに科学への興味をもってもらうことを目的に地域の小学校や教育委員会等から本年度は既に7件の依頼を受けて、8月現在で4件を終了している。

### ◆「赤城南ろく桜フェスタ」

主催：赤城青少年交流の家  
日時：平成25年4月13日（土）10:00-15:00  
内容：「ウイングブレード作り」  
会場：赤城青少年交流の家（体育館使用）  
対象：来場者（定員：90名）  
スタッフ人数：13名



### ◆「科学あそび」

主催：大間々南幼稚園  
日時：平成25年6月13日（木）10:00-11:15  
内容：「スライム」「電磁石と力比べ」  
会場：大間々南幼稚園  
対象：年長組と保護者（45名+保護者）  
スタッフ人数：12名



### ◆「子供学習講座・理科研究の達人講座」

主催：足利市教育研究所  
日時：平成25年7月6日（土）9:30-12:00  
内容：「永久こま」  
会場：足利市生涯学習センター  
対象：足利市内小学5・6年生 54名  
スタッフ人数：12名



### ◆「太田市サイエンスアカデミー」

主催：太田市教育委員会青少年課青少年教育係  
日時：平成25年7月26日（金）15:00-17:00  
内容：「歩くおもちゃ」  
会場：イノベーションセンターおおた  
対象：太田市内小学5・6年生 30名  
スタッフ人数：10名



本年度前期は多数の依頼があり満足する活動ができたと思える、また赤城青少年交流の家との交流事業も順調にスタートできたと確信できた。

文責：石川（信）

## 「理科出前授業」報告

平成 25 年 3 月 8 日（金）伊勢崎市立殖蓮第 2 小学校 5 年生 3 クラス（計 81 名）に対し、理科の出前授業を薊、尾池の 2 名の技術職員で行った。テーマは「電流のはたらき」である。きっかけは、理科専科の先生が教育熱心な方で、毎年呼んでいただいている。小学校 5 年生の理科授業の後半に電磁石のテーマがあり、これが終わった頃にこの出前授業を行っている。今回も、電流と磁力線の関係や力の発生、プラズマボールでの放電実験など、見て、感じて楽しめる 6 種類の実験を行った。毎回、児童の驚いた顔や楽しそうな姿を見ると、このような授業ができることの喜びとやりがいを感じる。全員から感想分も送られてきて、群馬大学に來たいとの声も数名あり、小さな種が大きく育つのを祈るばかりである。

文責：尾池



## 桐生事業場において「薬品管理システム導入検討会議」設置開催！

法人化後、研究室の安全性の向上、事故防止のため、薬品の一元管理が可能な「薬品管理（化学物質）システム」を導入している大学が増えてきました。残念ながら本学では、まだそのシステムは導入されていませんが、導入について早期に検討する必要があります。今後大学等においても、化学物質管理の適正化が強く求められていくことは必須であります。

技術部では平成 24 年度スキルアップ研修の一環として、群馬大学、特に桐生事業場のニーズに合う薬品管理システムを検討していく研究会を立ち上げました。

目的・目標として現状を再確認し、薬品管理システム

の導入等の提案を図ることとしました。アンケートを実施し、その集計結果を、平成 25 年度桐生事業場安全衛生委員会（第 2 回、5 月 29 日）で報告させていただきました。安全衛生委員会にて、「薬品管理システム導入検討会議」の設置が速やかに承認されました。設置するにあたり、ご理解いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。

薬品管理システム導入に関しまして、教職員の協力のもと【運用ルール】をしっかりと構築することが最も重要であると切に思っております。

文責：飯塚

## 研究会による館林市「科学クラブ」イベント報告

技術部研究会「地域貢献中学生向けテーマの開発」は、6 名のメンバーで昨年度から 20 回に及ぶ研究会を開き、新しい中学生向けのテーマの開発を行ってきた。最初は、メンバーそれぞれがテーマを持ち寄り、そのテーマの実現性の検討や試作を行ってきた。最終的には電磁石とリードスイッチを使った「永久コマ」を完成させた。研究会の最後の成果発表として館林市教育委員会主催の「科学クラブ」（館林市向井千秋記念子ども科学館 7 月 13 日（土）実施）に講師として中学生 1～3 年生 11 名を対象に「永久コマ」の製作を行った。このイベントにはメンバー全員が参加して、参加者を 5 つのグループに分け、それぞれ 1 グループを担当して指導にあたった。エナメル線をボルトに巻いて電磁石を作るところや、最後のハンダ付けなど少し難しい作業もあったが、最後に全員のコマが勢い良く回って参加者も感動していた。



文責：鍋木